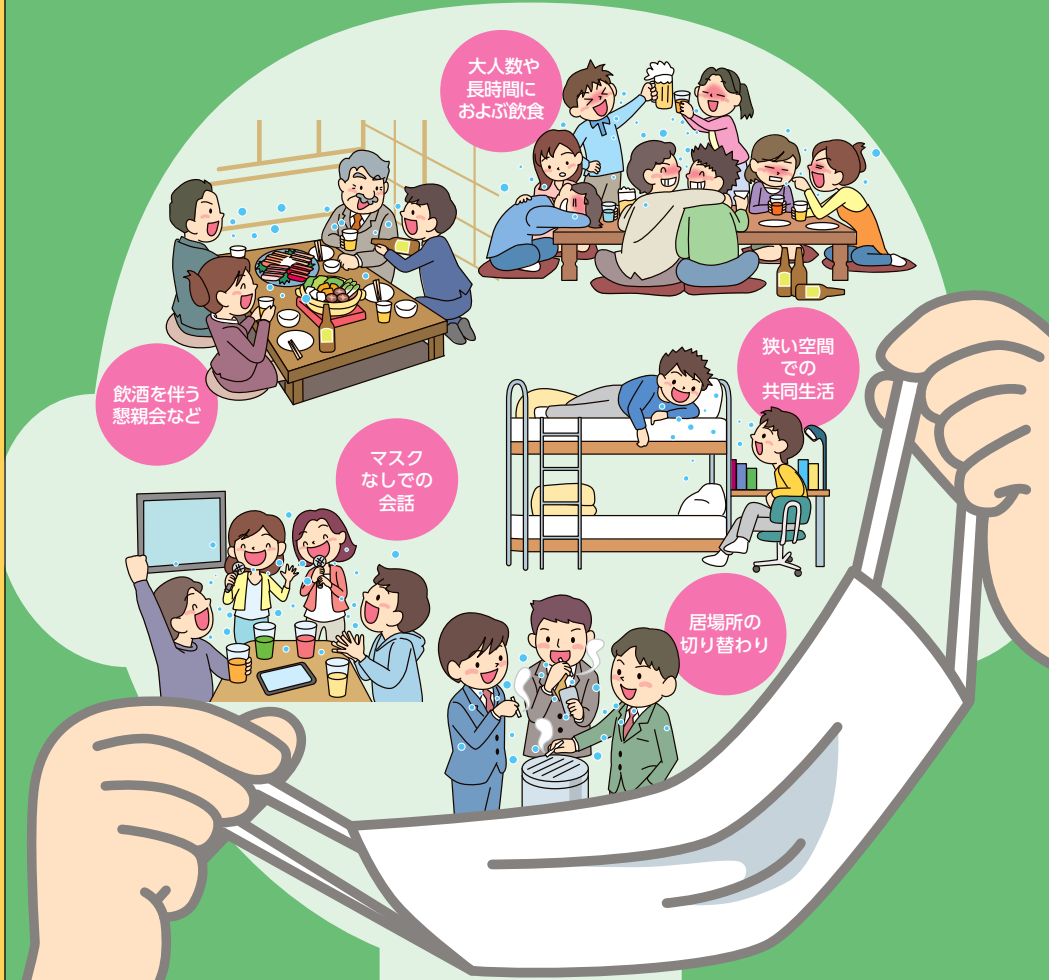


# いつでもマスク 気をつけたい「5つの場面」



最新の情報や詳しい内容については弘前大学の Web サイト  
[www.hirosaki-u.ac.jp/46721.html](http://www.hirosaki-u.ac.jp/46721.html)  
をご覧ください。

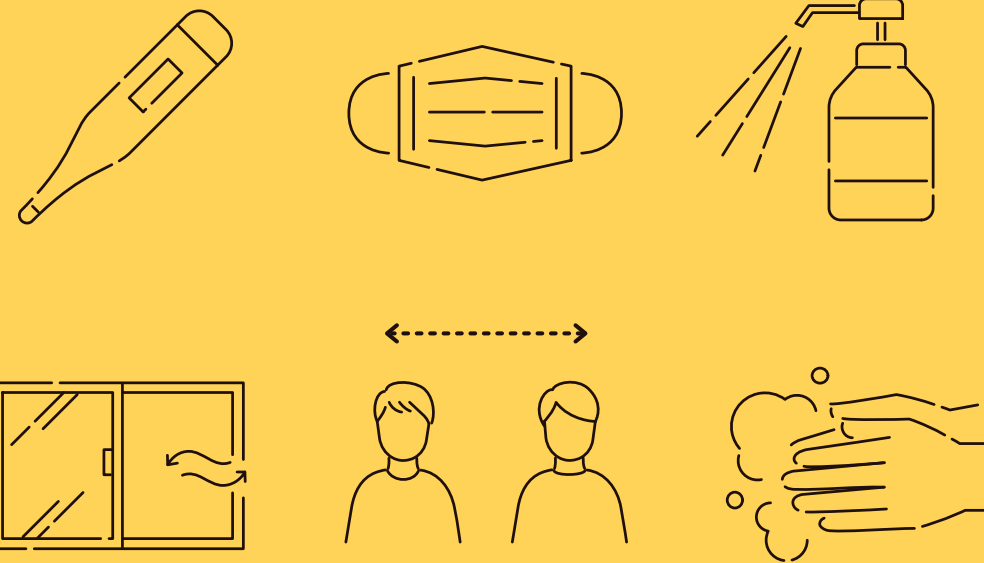


English information is available on  
[www.hirosaki-u.ac.jp/en/3262.html](http://www.hirosaki-u.ac.jp/en/3262.html)



## 新型コロナウイルス感染症を正しく知って 大学生活の維持につなげましょう

令和3年4月



## はじめに

新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの接種が普及するまでにはまだかなりの時間がかかりそうですし、変異型ウイルスの発生や第4波の流行も指摘されるなど、引き続き様々な対応が求められている状況です。

こうした中、感染を予防し、大学の授業などを含む学生生活への影響を最小限にするため、改めて学生の皆さんとして知っておくべきポイントをまとめました。

## 1 感染と症状

新型コロナウイルスについては、感染しても症状が出るまでに1週間ほどかかる、特に若い人の場合には症状が出にくいこともあるなど、インフルエンザなどとは異なった症状が見られます。このため、**本人が気づかないうちに他人にうつしてしまう**ことにもなり、**若い人ほど感染拡大に気をつけなければならないと自覚することが大切**です。なお、変異型ウイルスによって、若い世代への感染が拡大する傾向があると指摘されており、これまで以上の注意が必要です。

## 2 感染予防の徹底

### ① マスクを必ず着用

飛沫による感染が最も多いとされます。マスクの着用は、他人にうつさないためにも大切です。花粉症などによりくしゃみが出るような時には、マスクの着用やティッシュで覆うなど咳エチケットにも心がけてください。



### ② 体温管理・手指消毒

大学の建物の出入り口には、体温モニターと手指消毒スプレーが設置されています。大学での感染拡大を防ぐためには、建物内にウイルスを持ち込まないことが大切です。寮や自宅なども含めて、日頃の体温管理とともに手指消毒に努めてください。また、体調が普段と違う、風邪っぽいといった症状がある場合には登校せず様子を見て発熱(37.5℃以上)等の症状が出た場合には所属学部・研究科の教(学)務担当に報告してください。



### ③ 3密の回避・飲食等における注意

狭い空間、多くの人、近い距離の3つの密が感染発生の危険性を高めます。そうした3密空間でマスクをしないことが最も感染の危険性が高いと言えます。例えば、カラオケ、ライブハウスなどのほか、食事の際にはマスクを取ることもあり、お酒を飲むことによって気が緩み大きな声になるといったことから、飲食の場での注意も大切です。特に大人数での飲み会、コンパなどの場を控えることや、少人数の場であっても飲み過ぎないように心がけてください。さらにアルバイトについても、感染対策(従業員がマスクをしているか、換気に気を配っているか、3密になっていないかなど)が徹底されているところを選ぶように気をつけてください。



## 3 大学生活を維持するために

弘前大学では、学生に感染者が発生した場合には、過去に遡っての行動調査 → 接触者を幅広く特定 → 濃厚接触者については附属病院で独自にPCR検査 → 学内関係者の陽性者の確定 といった対応をとることにより、安心な環境での対面授業の再開を図ることにしています。

こうした対応を迅速・確実に行っていくためには、学生の皆さんを含めて、日頃から行動を思い出せるよう経過観察日誌を毎日記入し、特に、感染の機会となりうる会食、他の地域への移動などの機会やマスクの着用の有無などについてメモをしておくなど心がけてください。また、身近な人が濃厚接触者になったといったことがわかった際には、早めに大学に連絡するようにしてください。早めの連絡が対面授業をはじめとする大学生活の維持につながります。

なお、国内特定地域へ移動する際は、所属学部・研究科の教(学)務担当へ国内特定地域移動届を忘れずに提出してください。

